

Ⅱ NPOの定義・特性・役割

1 NPOの定義

NPO（Non-profit Organization）は一般に「営利を目的としない民間組織（民間非営利組織）」の総称として用いられています。

この方針では、特に、市民が行う社会貢献活動を促進するという観点から、NPOを「市民が主体となって継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体で、特定非営利活動法人（NPO法人）及び市民活動団体やボランティア団体などの任意団体」と定義します。

なお、宗教活動・政治活動を主たる目的とするものや選挙活動を目的とするものなどは、NPOから除外します。

NPOの範囲

		法 人	任 意 団 体
最広義の NPO	この方針で対象とするNPO	特定非営利活動法人 (NPO法人)	市民活動団体 ボランティア団体
	公益法人等	社団法人 財団法人 学校法人 社会福祉法人 医療法人 宗教法人 等	
	地域団体	認可地縁団体	町内会 自治会
		協同組合 労働組合 等 中間法人	業界団体 同窓会 同好会 等

「営利を目的としない」とは、サービスの提供などによって利益を上げてはいけないということではなく、活動の結果として利益が生じても、これを団体の構成員に分配せず、団体の本来の目的である社会貢献活動に充てることを意味しています。

なお、NGO（Non-governmental Organization 非政府組織）は、一般的には、「非営利性」よりも「非政府性（政府からの独立性）」を強調するときに、NPOと区別して使用されることが多いようです。

例えば、環境や人権・平和、開発、教育、保健医療などの分野で、政府からは独立して、国境を越えた活動を展開する団体に対して使われています。

この方針では、NGOはNPOに含めて捉えています。

2 NPOの特性

(1) 自主性・自発性

NPOは、地域社会あるいは地域を越えた様々な課題を解決していく社会的使命や価値観に基づき、市民が主体となって、自主的・自発的に社会貢献活動を行っています。

(2) 多様性

NPOは、社会的課題の多様性・複雑性に対応して、極めて幅広い分野で多様な取り組みを行っています。

(3) 柔軟性・先駆性

NPOは、地域や生活の場で発見された課題や市民の多様なニーズに対し迅速に対応し、自由な発想で柔軟かつ機動的に対応することができます。また、新たな課題に対する創造的で先駆的な取組を行っているところもあります。

(4) 地域のコーディネート機能

NPOは、地域の人材や資源を発掘し、人と人、組織と組織をつなげ、それらを有機的にコーディネートして課題解決のための新たな手法を生み出します。

3 NPOに期待される役割

(1) 市民の自発的な社会参加の機会の提供

市民のNPO・ボランティア活動への参加意欲は大変高くなっています。特に、これから団塊の世代が定年退職を迎え、NPO・ボランティア活動に積極的に参加してくることが予想されます。

こうしたことから、NPOは、市民がそれぞれの個性や能力を発揮して自発的、主体的に社会参加する機会を提供することが期待されています。

(2) 公共サービスの提供

NPOは、社会的課題や市民の多様なニーズに機敏に対応し、きめ細かな公共サービスを提供しています。また、社会の潜在的課題を発見し、新しい社会サービスを創出していくとともに、行政や企業では対応しづらいサービスを提供することが期待されています。

(3) 市民のネットワーク化と社会資源の活用

NPOは、個々の課題やテーマに応じて多彩な活動を行う中で、地域の多様な個人や団体を結びつけ、新しいネットワークを形成します。また、資金や知識、技能、情報など様々な社会資源を有機的に活用して活動を展開しています。

NPOには、このような人や資源を「つなげる」機能によって、地域社会を活性化する推進力が期待されています。

また、NPOが生み出す雇用や付加価値は、地域に新しいサービスや産業を創出するきっかけとなるなど、地域経済の活性化につながります。

(4) 市民が主体となった地域社会の形成

NPOは、社会の様々な課題を発見し、課題解決の新たな手法の開発や政策提言、仕組みづくりなど、その解決に向けて取り組む活動を行っています。

そうした活動により、地域全体の課題解決力を向上させ、市民が主体となった地域社会の形成に重要な役割を担うことが期待されています。